

第5回JLAシミュレーション審査会

実施概要

シミュレーション 2020

実施通知

JLA 溺水防止救助救命本部
パトロール能力向上委員会

■名 ■目 的	第5回JLAシミュレーション審査会	
		① 溺者・傷病者に対する救助救護技術の向上と、関係法令に遵守し、専門分野の有識者指導の下、 <u>ライフセーバー間の技術共有</u> を目的とします。 ② 医療機関まで『命をリレーする一員』として、 <u>ライフセーバーと公的救助機関との連携能力向上</u> を目的とします。 ③ 日本各地の活動環境にあわせたシミュレーションを実施することで、実施者、審査員ともに様々な想定を学び成長できる機会とするとともに、各地のライフセーバーと公的救助機関との連携促進を目指します。
■日程場所	「千葉県・関東ブロック」 2020年 9月12日（土）御宿中央海水浴場（千葉県御宿町） 「近畿・四国ブロック」 2020年 月 日（ ）若狭和田海水浴場（福井県高浜町） 「九州・沖縄ブロック」 2020年 月 日（ ）シーサイドももち海浜公園（福岡県福岡市） 「北海道・東北・北信越・関東ブロック」 2020年 月 日（ ）葉山大浜海岸（神奈川県葉山町） 「東海ブロック」 2020年 月 日（ ）相良サンビーチ（静岡県牧之原市）	日程調整中 日程調整中 日程調整中 日程調整中
		※出場チーム数によって変更する可能性があります。
■主 ■後 ■助 ■協 ■協 催 援 成 賛 力	公益財団法人 日本ライフセービング協会 海上保安庁、消防庁、千葉県、他、調整中【各予定】 公益財団法人日本財団 味の素株式会社、株式会社櫻井興業G U A R D事業部【各予定】 御宿町、勝浦海上保安署、夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部、 一般社団法人御宿町観光協会、フクダ電子株式会社、他、調整中【各予定】	
■審査項目	① 繼続監視要領 ② ライフセーバー間の連携要領 ③ 傷病者への観察要領 ④ 救急隊への引き継ぎ要領 ⑤ 観衆への対応要領 ⑥ 監視長の指揮要領 ⑦ 資器材の適正な取扱い要領 ⑧ 環境に配意した対応要領 ⑨ 接遇要領 ⑩ 関係者の対応要領 ⑪ 感染症対策要領	
■想 定	想定の概略 ① 審査長の「想定はじめ」の合図から審査開始とします。 ② 6名態勢で通常の監視業務中に有事が起きたこととします。 ③ 他にも遊泳客は存在し、海のコンディションは良好です。 ④ 遊泳禁止等の判断は海浜組合・役場の3者と協議し決定しているため容易に変更できない状況です。 ⑤ 實施者により仮想119通報があり、救急隊要請された場合、後に救急隊が到着します。 ⑥ 総括の指示で係員が計測を行い、総括の「想定終わり」の合図によって審査終了とします。 ⑦ 想定に別途変更などあった場合、当日事前説明時に変更点や付加事項などを実施者にお知らせします。	

実施時間

9分間（実施チーム数によって変更します）

実施人数

6名 内訳（監視長1名 監視員5名）

使用資器材（地域によって変更の可能性あり）

- ① レスキューボード・レスキューチューブ・双眼鏡・パイプ椅子・拡声器・AED・バッカボード・滅菌ガーゼ・サージカルテープ・三角巾・お湯・氷水など（事前に手に取って確認することができます）
- ② その他、普段監視業務で使用している資器材の持ち込みを可能とします。

■表彰

審査結果により優秀チームを表彰します。

■審査員の構成等

- ① 審査員は主催団体本部から5名と地域クラブから8名、JLAスーパーバイザー、JLAメディカルダイレクター、外部審査員として消防庁様（若しくは消防関係者様）、海上保安庁様の原則約20名の構成とします。（地域によって変更あります）
- ② 地域クラブ代表の審査員は原則次年度連続して従事しない者とします。
- ③ 次年度の地域クラブ代表の審査員は、原則前年度地域クラブ代表の審査員により推薦され、溺水防止救助救命副本部長により承認します。
- ④ 溺水防止救助救命本部長は原則毎年、審査長として、溺水防止救助救命副本部長は原則毎年、審査員として従事します。
- ⑤ アカデミー本部長、副本部長、委員長のうち1名が審査員として従事します。
- ⑥ スポーツ本部長、副本部長、委員長のうち1名が審査員として従事します。
- ⑦ 教育本部長、副本部長、委員長のうち1名が審査員として従事します。
- ⑧ 各審査員等に欠員が出た場合、溺水防止救助救命副本部長の推薦により、溺水防止救助救命本部長が承認することが可能とします。
- ⑨ 地域クラブ代表選出の審査員は、長年クラブ運営に携わり、多くのライフセーバー育成に貢献し、監視業務の連携活動に高度な審査が出来る者とします。また、公的救助機関との連携活動を審査出来る者を推薦・承認することとします。
- ⑩ 新規に開催される開催地の審査員の選抜は、当該都道府県協会の推薦した地域クラブが、上記⑨に該当する人物を選出（人数は各要相談）し、溺水防止救助救命本部長が承認します。
- ⑪ JLA各都道府県協会は、視察を兼ねて代表者1名を派遣していただき、審査会オブザーバーとして参加願います。

■エキストラの募集

受付先：Web受付にてエキストラの公募を行います。 9/12のみ申込→
2020年9月11日 公募締切 <https://forms.gle/ZhbVWYDRjMdtqZ6r6>



■審査員の発表

開催地域実施前に適宜別途発表します。

■審査員及びエキストラへの事前説明会

各実施日当日朝に行う予定です。事前説明会実施場所や時間は別途該当者へ連絡します。

■審査結果発表

都度会場にて閉会式で発表します。

■検討推奨事項発表

全実施会場終了後に協会、年度内HPにて発表します。

検討推奨事項を次年度のパトロールの連携技能や審査会に活かしてください。

■参加費 1チーム3,000円

■参加チーム数

各日程、最大15チームとし、申込順で締め切りとします。

■お申込み方法

1. 参加者募集要項の全ての書類を良く読み、参加規定を承諾した上でお申し込みください。
2. 参加者申し込みされた方は同時に同意書を承諾したものとみなします。
3. どの開催地にも参加できますが、年度内エントリーは全日程合計で1回までの参加にご協力ください。
4. 御宿審査会の申し込み開始は、2020年8月25日（火）からです。
5. 御宿審査会の申し込み締切は、2020年9月3日（木）18:00迄

Webエントリーすべての項目に記入願います

- チーム名
- チーム代表者名
- チーム内参加者全員の氏名
- チーム内参加者全員のメンバーID(5から始まる9桁の数字)
- チーム内参加者全員の電話番号
- チーム内参加者全員の住所
- チーム内参加者全員の緊急連絡先名
- チーム内参加者全員の緊急連絡再電話番号



申し込みQRコード

9/12 御宿会場のみ申し込みWebエントリーURL↓

<https://forms.gle/YMSBBuynE3UV8qXR9>

御宿会場以外の申込WebエントリーURLは追って通知します。

6. 参加費につきましては 1チーム3,000円を申込締切日までに下記の口座へお振り込みください。恐れ入りますが振込手数料につきましては振込者側でご負担ください。

金融機関・支店名： 三井UFJ銀行 新橋支店（店番433）
口座種類・番号： 普通 5298841
口座名義： 公益財団法人日本ライフセービング協会
ザイ）二ホンライフセービングキョウウカイ

※振込の際には、「チーム（クラブ）名略称 もしくは 振込者個人名」・「審査会」を必ず付けてください。【入力例】浜松町・審査会

7. 参加規定を満たしていない場合、Web入力の不備、参加費の未納等は参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。また、各都道府県協会加盟登録の手続きをされていない方、各都道府県協会加盟登録費未納のクラブは、本審査会に出場できませんので、予めご了承下さい。
8. 全てのWeb申込入力事項はメモを取り、控えをお持ち下さい。
9. Web申込入力事項の個人情報は、審査会プログラムに掲載される可能性があります。
10. 参加申込および参加費振込みの締切りは各日程、最大15チームとし、申込順で締め切りとします。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

■その他

1. 感染防止のための伝達事項は後日示します。
2. 社会情勢の変化によっては開催しない場合があります。
3. 審査会に向けたトレーニングが、感染対策への備えや、強固なチーム力向上につながります。

～お申し込み・お問い合わせ先～

公益財団法人 日本ライフセービング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F 担当 中山

TEL: 03-3459-1445 FAX: 03-3459-1446

<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/> info@jla.gr.jp

(電話お問い合わせ時間 12:00~18:00)

公表想定

各チームの事前トレーニングのために予め想定を公表しますが、一部をブラインドとします。ブラインド部分について各チーム想定し、技能及び連携能力向上に活かしてください。

時間	項目	備考
0分	監視員（以下 LS）詰所テント（以下監視台）に実施チームは待機 固定監視 監視長の「準備よし」の呼称があつたら 統括の『想定はじめ』の合図で計測開始	
想定開始後 本部前波打ち際から ら	監視本部目の前の波打ち際から、関係者友人 A ([REDACTED]) に付き添われ、『たぶんクラグ…痛すぎる…』『痛い…』と訴え、監視本部内に侵入してくる。傷病者 [REDACTED]。水深 30 cm 位の波打ち際で激痛を覚える。激痛のため終始苦悶。よく見ると右前腕に水色の触手残存物あり。 想定のねらい : [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]	
想定開始後 海の家から駆け寄 つてくる	胸ほどの水深から傷病者をうつ伏せで抱え上げる発見者が助けを呼ぶ 発見者は、 [REDACTED]。遊泳中に、付近にいた傷病者の動きを不審に思い抱え上げると意識のない状態に気づき助けを呼んだが、 [REDACTED] 傷病者 [REDACTED] 傷病者バイタル : (生体 [REDACTED] 、意識レベル 300) 顔面 [REDACTED] 、 [REDACTED] 、脈は弱く、橈骨で [REDACTED] 、呼吸 [REDACTED] 、 LS 接触後 [REDACTED] 胃内容物逆流 飯 類大量に準備)。上記状況 以外は見たまま、外傷 [REDACTED] (負荷想定は傷病者の胸部に付加想定項目を表記する。) 処置 : [REDACTED] 感染防止対策が十分なされているかの確認 感染防止着・マスク・ディスポグローブなど、ファーストが未装着だったものをセカンド・サード・監視本部がいかに連携し、最大限の感染防止対策に取り組めるかが重要な審査項目。 関係者友人 B は、 LS が傷病者を水から引き上げた時に現れる。慌てており、 LS 接触後 30 秒間は傷病者に『大丈夫？ どうしたの？』と大声で話すだけで会話にならない。氏名年齢は聞かれなければ答えない。その後、 [REDACTED] 傷病者の [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 119 番通報はトランシーバーにより仮想消防を呼び出せばそれぞれ出場する。	
[REDACTED]	救急隊砂浜に到着（革靴で資器材多数：サブストレッチャー、隊長バック、吸引機、除細動器、酸素バック）	
[REDACTED]	A 隊長指示で、搬送開始 それまでは A 隊は観察継続	
想定開始 9 分後	車内収容完了 監視業務継続 統括の『想定終了』の合図で計測終了	

想定内容は、急遽変更される場合がありますが、各地域でチーム間のトレーニングなど準備しておいた方がいい感染対策などを鑑みた想定になります。

公表想定

時間	項目	備考
0分	監視員（以下 L S）詰所テント（以下監視台）に実施チームは待機 固定監視 監視長の「準備よし」の呼称があつたら 統括の『想定はじめ』の合図で計測開始	
開始 秒後	L S詰所テントにクラゲ被害にあつた浴客が来る	
開始 秒後	胸ほどの水深から傷病者をうつ伏せで抱え上げる発見者が助けを呼ぶ	
開始 分後まで	死戦期呼吸（L S接触後 分間、補助呼吸実施していたら 分以降は呼吸なし） 上記直後に訓練用 A E Dにより、解析開始、ショック その後、意識レベル 300、呼吸無し、脈無し、外傷無し 長い金属のネックレス 衣類含む私物は友人の車内（駐車場） 傷病者のバイタル：死戦期呼吸及びその後呼吸無し、心肺停止以外は見たまま、友人は救急隊に同乗可能 傷病者は生体のため胸骨圧迫は実施している様だけで行う 119番通報はトランシーバーにより仮想消防を呼び出せばそれぞれ出場する。	
開始 分後	救急隊砂浜に到着（革靴で資器材多数：サブストレッチャー、隊長バッカ、吸引機、除細動器、酸素バック）	
開始 分後	A隊長指示で、搬送開始 それまではA隊は観察継続	
開始 9分	車内収容完了 監視業務継続 統括の『想定終了』の合図で計測終了	

注意事項

- 実施チームは、実施時間 20 分前には、係員から指定された次番実施チーム待機テントに集合し、審査開始まで離れないでください。
- 想定終了後は、実施チームは速やかに使用資器材を元の位置に戻し、次番チームの進行の妨げにならないよう配意してください。
- 実施チームの審査前待機場所は駐車場内とし、前番の実施チームの審査はモラルの範囲で見ないものとします。
- 審査実施終了後チーム及び見学者は審査実施を見学し、見取りトレーニングとしての参加を推奨しますが、審査未実施チームへの想定内容など情報漏えいは禁止とします。
- **想定内容は、急遽変更される場合がありますが、各地域でチーム間のトレーニングなど準備しておいた方がいい感染対策などを鑑みた想定になります。**

● 第5回JLAシミュレーション審査会 参加規定 及び 同意書

1 [参加資格]

実施者の参加資格は下記の3点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- (1) 実施者は、審査会当日満15歳以上でなければならない。但し中学生を除く。
- (2) 実施者は、ライフセービング活動を志し、出場する審査会の過去2年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に25時間以上従事した者でなければならない。
- (3) 実施者は、締め切り日までに、本協会の第1種から第6種の団体に登録していなければならない。
- (4) 実施者は、ベーシック以上の資格を所有していなければならない。実施者が高校生の場合は、BLSおよびWS以上の資格を所有していなければならない。

2 [チームの参加資格]

- (1) チームは、締め切り日までに、本協会の第1種から第6種の団体登録が完了していなければならない。また、1団体からの出場は原則1チームまでとする（千葉県での開催時は千葉県内のチームであれば、所属浜毎の出場を認めます。ただし、1日最大実施チーム数15を超えた場合は出場制限をかけます。）。ただし参加チーム数が多くなり、運営に影響があると判断された場合は出場数に制限をかける可能性があります。
- (2) チームは、同じクラブに所属する実施者により構成されていなければならない。

3 [出場登録]

実施者は、あらかじめ申し込み手順に沿ったWebエントリーをしなければならない。なお、エントリー後の参加者の変更は、パトロール能力向上委員会に届け出て、認められなければならない。

4 [チーム代表者]

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を1名おかなければならない。なお、チーム代表者と実施者はこれを兼任することができる。

5 [服装]

- (1) 各チームは、普段監視業務で使用するユニフォームを着用すること。JLA公式ユニフォームを使用しているチームは、原則として当年度に配布されたユニフォームを着用する事。
- (2) ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる実施者も審査会に参加することができない。
- (3) チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに審査会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- (4) 審査会主催者が指定する衣類（ラッシュゼッケン）を審査会中に着用していただくことがある。

6 [参加費]

- (1) 参加費は、1チーム3,000円とする。
- (2) 参加費は、参加申し込みの締め切り日までに支払わなければならない。
- (3) 参加申し込み締め切り後の参加登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- (4) 実施者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

7 [使用器材]

- (1) 審査会に使用する器材は想定に示された物を審査会主催者が用意するが、その他、普段監視業務で使用している資器材の持ち込みを可能とします。ただし持ち込み器材が審査会中に破損した場合でも、審査会主催者は責任を取らなければなりません。
- (2) 主催団体は、実施者の器材の検査・再検査を審査前、審査中、審査終了後任意に行うことができる。器材に著しい事前工作など、普段の監視業務での使用状態としてあり得ない場合は、実施者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- (3) 審査会主催者が指定する表示物を器材等に貼用していただくことがある。

8 [実施規則]

審査会実施人数は1チーム6名とし、人数の増減は認めない。

9 [その他]

- (1) 審査会中に審査会主催者および審査会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することができます。
- (2) 審査会中に審査会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることができます。
- (3) 審査会主催者への登録事項に虚偽が認められた場合、審査会への参加や記録が取り消されことがあります。